

杉森

杉並区立 杉森中学校
学校だより 第322号
平成24年5月31日
平成24年度 第2号

「生きることそのものが、表現」

校長 大橋 亮介

最近、未成年者が無免許運転で小学生やお母さんをひき、人命を奪ってしまった京都の事故、中学生が人をナイフで刺して傷つけた八王子のバスジャック、高校生などが集団暴力で人命を奪った江戸川の事件など、あまりにもショッキングな出来事が多すぎた。事件を起こした加害者は、人の「いのち」をどう思っているのだろうか？

今月は、人権尊重・生命尊重の啓発活動として「いのちの教育月間」である。今年度も私が、障害を持った主人公の前向きに生きる姿を描いたビデオを活用しながら話をし、全生徒に「いのち」について考えてもらった。

ビデオのあらすじは、生まれた時から体の麻痺があり、障害に向かいながら、音楽や演技に情熱を傾け生きている主人公のあみさん（22歳）が、自分に自信を持って前向きに生きている。あみさんはカメラに向かって言う。「生きていればみんな表現、かっこ悪く見えて表現、かっこよく見えて表現。」「もうこの体でやっていくしかないんだ私。」「なんで足が動かないんだろう、私の足付いている意味ないじゃん。私なんかいないほうがいいのかな…とよく言っていた。だけども取つ替えられるわけじゃないんだし。映画みたいに入れ替わるわけでもないから、付き合っていくしかないんだなって。人間やっぱ見た目で入っちゃうけど、関わってみると『人間なんだよ』って。そりや確かに足も動かなくてさ、変な顔してるけど、『そういう人間

だっているんだよ』って言いたいです！！」

主人公のあみさんは、自分の障害を受け入れ、自信を持って前向きに一生懸命に生きている。人は、能力や外見、同じ考え方、同じ環境などで、人を判断してしまうことがある。人は、自分とは違う考え方や生き方、優れている点もあれば、及ばない点もある。外見では分からぬけれど、障害を持っていることもある。人は、10人いれば10人が違うことを理解することが重要である。自分は自分であり、人と違うことが当たり前である。大切なことは、自分自身をよく知ること、つまり自己理解を深めることである。「自分なんかではなく自分だからこそ、今がある。」自分を肯定的にとらえることも重要である。そして、自分の周囲にいる人の言葉に耳を傾け、そばにいる人を大切にしてほしい。自分の何気ない無神経な一言が、人を傷つけてしまうこともある。子供たちには、自分に自信を持って生きてほしい。そして他の人を理解し思いやりを持って接してほしい。

お父さん、お母さんがいて、この世に生を受け、今自分がここにいることには大きな意味があることを理解してほしい。そして、自他共に理解し合うことが、生きること、いのちを大切にすることにつながっていく。

いのちは、一つしかない。自分の「いのち」、人の「いのち」を大切にし、すべての人が生きいきと充実した人生を送れることを願っている。悲しい出来事は、もう聞きたくない。

5月
～杉森中は65周年～



～東京では173年ぶりの
金環日食～



【生徒総会】5／7（月）

今年は創立65周年。

「輝け杉森・自由と責任」がすっかり定着したようです。



【土曜日学習会】5／12（土）

学校支援本部による土曜日学習会。参加した54名は、みな真剣に取り組んでいました。



【いのちの教育】5／14（月）

「格好よくても表現、格好悪くても表現」。日々を真剣に生きる人の声に、静かに耳を傾けました。



【セーフティ教室・薬物乱用防止教室】5／18（金）

分かりやすいDVDと、杉並警察署による講話で、健康に、安全に生活する大切さを学びました。



【セーフティ教室】〈第2部〉

警察署の方によるお話をメインに、子どもを守るために家庭の役割が大切であることを確認しました。



【金環日食観察会】5／21（月）

直前まで引かれていた雲の幕が開き、100人で見上げた朝の空。思いは宇宙へ・・・。

〈6月の予定〉

- 1（土）体育祭
- 6（水）杉教研
- 7（木）眼科検診（全）
- 8（金）教育実習（終）
- 11（月）学校公開（始）
- 13（水）学校公開（終）

13（水）研究授業：3年（女子）保健

15（金）進路保護者説明会（3年）

21（木）音楽鑑賞教室（2年）

22（金）伝統芸能鑑賞教室

27（水）期末考查（始）

29（金）期末考查（終）

避難訓練（地域班確認）

【訂正】5月号で紹介した大浦眞治先生の前任校は東原中学校です。

ご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正いたします。